



つながる

R1. 9. 26(金) No.12 立野 健一

前期期末テストの結果は？～+20点の上乗せは？～

学年	中間より上がった (+ 20点以上、上乗せ)	一番上が った生徒
1年	25名 (5名)	+ 56点
2年	32名 (9名)	+ 87点
3年	63名 (18名)	+ 119点

※前期期末テスト（国理英社数）の合計点数。

※実技教科は、中間テストでやった教科、期末
テストのみでやった教科などバラバラだった
ため、今回は除く。

※総数は1年192名、2年191名、3年174名。

心が変われば行動が変わる
行動が変われば習慣が変わる
習慣が変われば人格が変わる
人格が変われば運命が変わる
運命が変われば人生が変わる

左の表が、前号でお伝えしていた「+ 20点上乗せ
できた生徒の数」になります。前期の中間テストは、
各学年、最初に学習する単元かつ家庭訪問や体育大会
等でテスト範囲もそれほど広くなかったため、期末テ
ストと比べると比較的解きやすい問題が多かったと思
います。ですから、「期末テストでは+ 20点の上乗せ
を！」と話したものの、正直厳しいだろうと思ってい
ました。予想通り、厳しい結果となりました。

しかし、そんな中でも、各学年で15%くらい中間
テストから伸びています。特に3年生は、「+ 20点」
「中間より上がった生徒」「一番上がった生徒」、どれ
も一番多く、「受験生としての自覚」が伺えます。

左の言葉はよく学校の中に掲示してある言葉で、み
なさんも一度は目にしたことがあるのではないでしょ
うか。勉強に対して、「これくらいでいいや」「別にし
なくともいいだろう」という思いから、「ちょっとやつ
てみよう」「間違ったところのやり直しをしてみよう」
と心（意識）が変わるだけで、その日の家に帰ってか

らの時間の使い方（行動）が必ず変わってきます。そんな日を一日、二日…と過ごすうちに、それをや
らないと、気が済まないようになります（習慣）。何か一つでも自分の中で「変わったな」「頑張っているな」
と思えたら、それが自信となり（一点突破）、他の場面でも「ちょっと頑張ってみようかな」となってい
きます。そんな姿を見ている周りの人たちは、「なんかあの人、変わったね」「成長したよね」と感じるよ
うになります（人格）。そうやって日々成長していくれば、周りから評価され、信頼され、頼られる存在と
して集団のリーダーとして活躍したり、重要な役目を果たしたりします（運命）。みんなに認められ、頼
られ、必要とされる毎日は非常に充実しており、忙しいけれど「楽しい」と感じることができます（人生）。
まずは心（意識）を変えること。それが全てのスタートです。

前期期末テストが終わり、3年生は英検3級合格と県下一斉共通テストに向けて、学習を始めています。
毎日、受験用参考書（新研究）に取り組みながら、さらに対策プリントに取り組んでいます。1年生、2
年生も期末テストのやり直しや日頃の授業の充実、そして課外活動（部活動やクラブチーム、習い事等）
にも全力で取り組んでいることでしょう。7月から始まった中体連駅伝大会に向けた練習も2か月を過ぎ、
昨日は1回目の試走も終え、本番に向けた準備も着々と進んでいます。合唱の練習も熱を帯びています。

ほんのちょっとした意識の変化が、毎日のちょっとした取組（行動）の変化になり、後々きっと結果と
してあらわれてくることだと思います。三中の先生方は、そんな「頑張るあなた」を応援しています。

English street の取組が始まりました～毎週水曜日～



荒尾市教育委員会が掲げた「英語の日常化」に向けた取組の一つとして、「English street」の取組がスタートしました。毎週水曜日、職員室前の廊下から校長室前→職員室前→保健室前までの1階廊下を通る時には、緊急時を除いて英語で会話をする取組です。Hello、good morning、hi、などの挨拶の言葉がほとんどのですが、「ハイ」という返事の後に、「あ…yes」と言い直す生徒もいて、なかなか面白い取組です。難しいのは職員室への入室。長い文章に生徒たちが手こずり、職員室入り口には長蛇の列…。ただ、英語科の先生方やスカイ先生のご協力のお陰で、職員室の2か所の入り口に、「職員室への入室方法英語版」が掲示されました（一番右の写真）。それを見ながら入室しています（真ん中の写真）。繰り返すことで「～してもいいですか=May I～」などの表現が自然とできるようになるでしょう。

他にも山下先生のお陰で、各教室等の英語での呼び名（ちなみに校長室は princip'l's room）が掲示されています。その呼び名が自然と出してくれれば、まさに「英語の日常化」と言えるのでしょうか。

中体連駅伝大会に向けて～10/15(水) 玉名市横島町周回コース～

7月からスタートした中体連駅伝大会に向けた練習。朝7：15からの練習をメイン練習として、陸上部や参加可能な生徒は夕方も練習にも励んでいます。暑い夏休み期間も給水しながら、時には少人数教室（常に冷房オン）で休みながら頑張りました。先日の試走でコースの下見も終わり、次回は10/1(水)。入り方やペース配分など、もっと詳しいミーティングのもとに、本番さながらの試走になります。その結果と日頃の練習の様子を総合して、スタッフが選手配置を決めます。他校と戦う前に仲間と競い、登録メンバーを勝ち取らねばなりません。それ以前に、自分自身との戦いに負けるわけにはいきません。苦しくなった時に「あと5mだけ頑張る」、「さらにあと5mだけ」…この繰り返しです。走りながら自分と対話するのです。そうやってチーム内で切磋琢磨していくけば、仮にAではなくBだったとしても、仮に走れなかったとしても、仲間をしっかり応援するいいチームになっていくはずです。本番が楽しみです。



